

岡山県の造林に適した早生樹種の選抜

【背景・目的】

岡山県内のスギやヒノキの人工林の多くは、伐採する年齢に達しており、伐採後には計画的な再造林が重要です。一方、県内では木質バイオマス発電所が複数稼働しており、燃料となる木質資源の安定的供給も必要です。そこで、スギやヒノキよりも成長が早く、造林に適した樹種を選抜するための研究を行いました。

【成果の内容】

①スギ・ヒノキに比べて成長は早いのか？

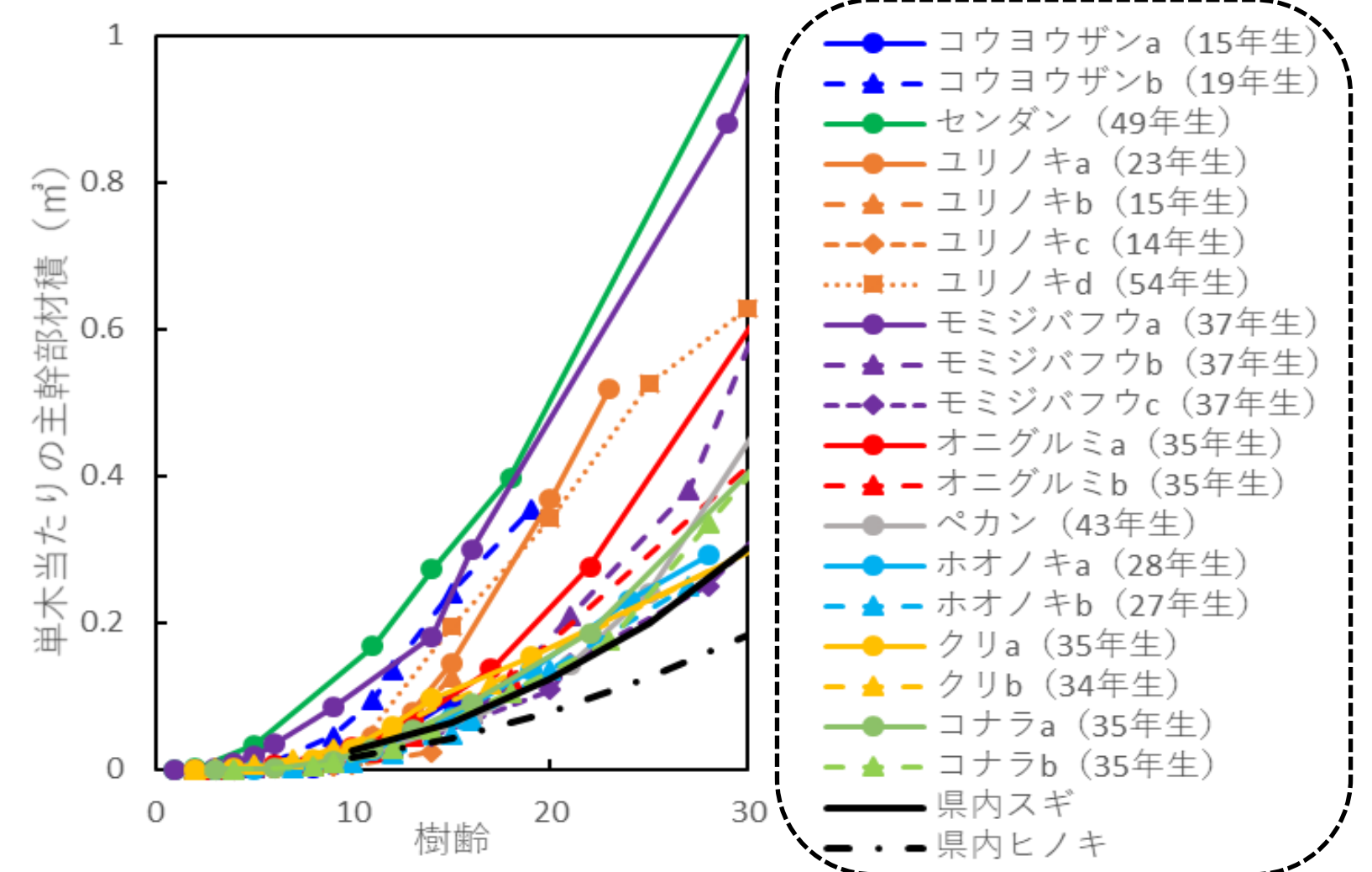
スギやヒノキに比べて、どのくらい早く成長するのかを知るために、9樹種の成木を伐り倒し、樹幹解析という方法で成長の特性を調べました。その結果、モミジバフウ、ユリノキ、センダンなどは成長が旺盛で、有望であることが分かりました。



成木の伐倒



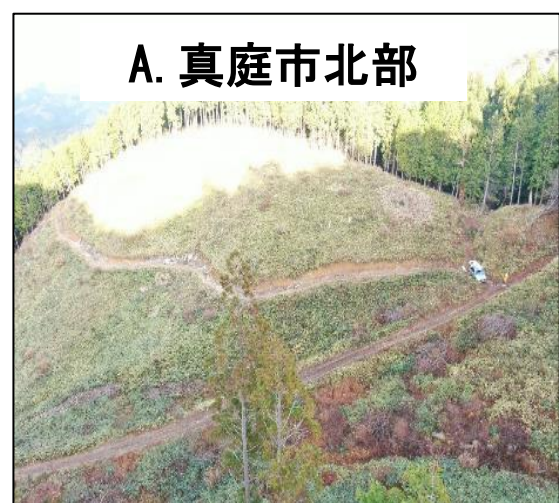
樹幹解析（年輪幅の測定）



各樹種の材積成長

②実際に山に植えたときに育つのか？

山に植えた場合の生育状況を把握するため、県北の3か所に植栽試験地を設けて、ヒノキとの成長を比較しました。その結果、ユリノキやモミジバフウなどの樹種が早生樹種として有望であることが分かりました。



A. 真庭市北部

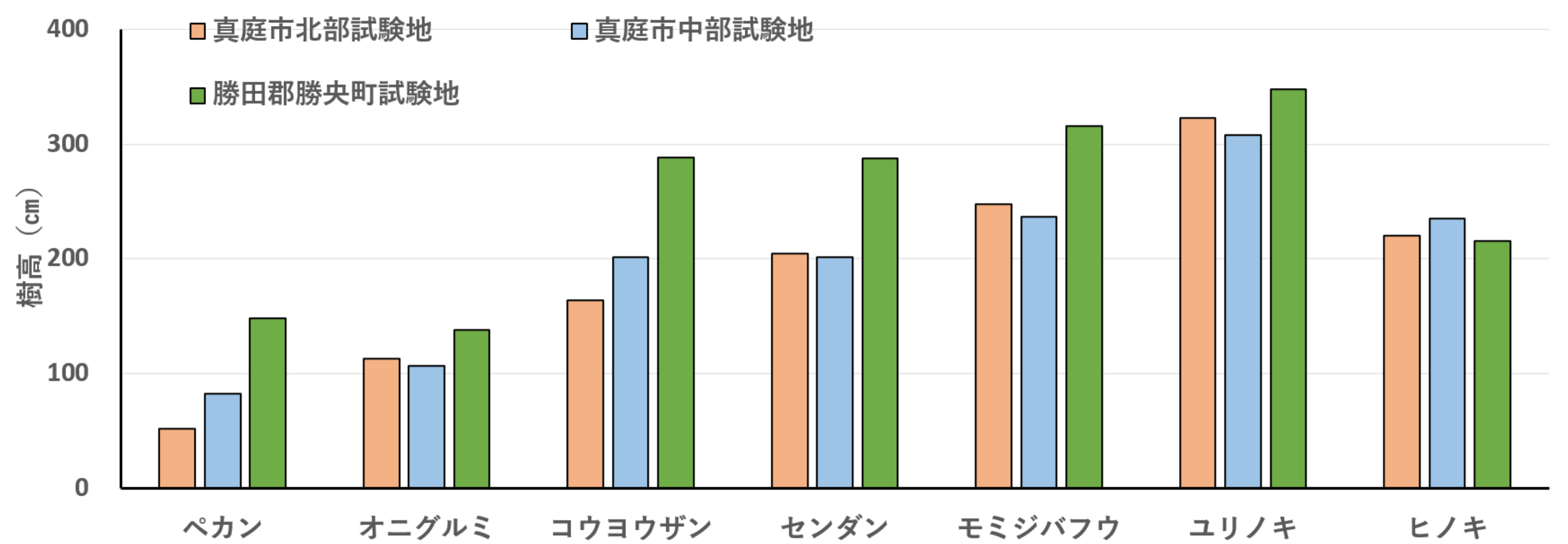


B. 真庭市中部



C. 勝田郡勝央町

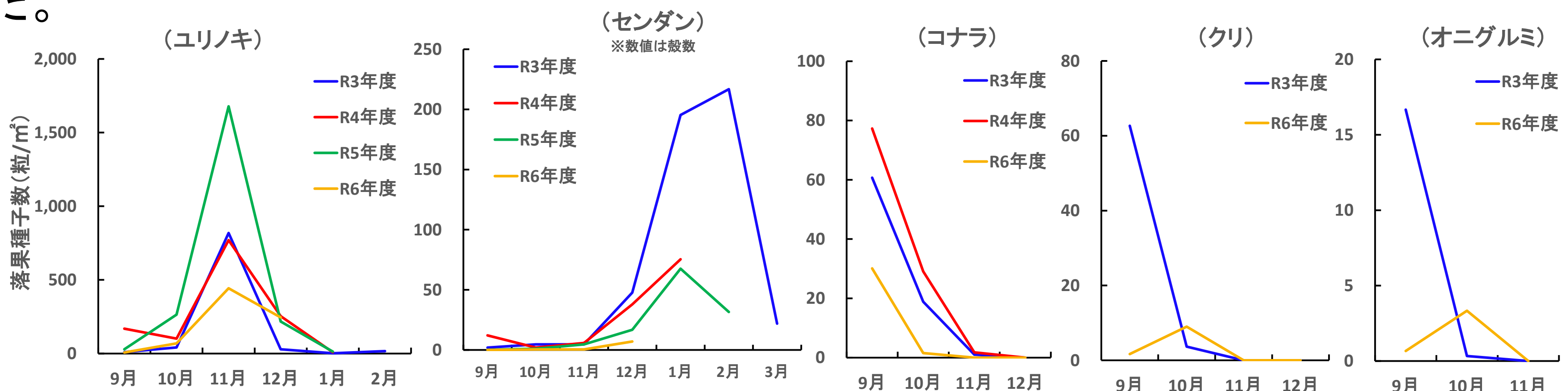
県北3か所の植栽試験地概況



県北3試験地での平均樹高比較（4年生時）

③苗木は確保できるのか？

苗木生産に必要な種子を効率的に入手するため、複数年にわたりシードトラップにより時期別の落下種子数等を調査しました。年による豊凶差が大きい樹種も見られました。



お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター
勝田郡勝央町植月中1001

森林研究所

TEL. 0868-38-3153